

科目ナンバー： BC2043

授業コード： 2230200400

講義科目名称： 母性看護学実習

英文科目名称： Clinical Practice in Maternity Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員			
◎上田恵、八巻ちひろ、五十畑麻奈美、黒崎美月、塚田文枝			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 60時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎上田 恵 cn. ac. jp	[所属] 新潟県立看護大学	【研究室】 302	【メールアドレス】 ueda@niigata-
	八巻 ちひろ cn. ac. jp	新潟県立看護大学	309	cyamaki@niigata-
	五十畑 麻奈美 cn. ac. jp	新潟県立看護大学	共同研究室2	isohata@niigata-
	黒崎 美月 mitukuro@niigata-cn. ac. jp	新潟県立看護大学	共同研究室3	
	塚田 文枝 ftsukada@niigata-cn. ac. jp	新潟県立看護大学	共同研究室2	
	実務経験のある教員が担当します			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】 【DP 6】 【DP 7】 ○ ◎ ○ ○ ○ ○ ○				

到達目標	1. 妊婦と胎児の特性と健康問題に応じた看護実践を考察できる 2. 産婦と胎児のアセスメント及び安全な出産に導くための看護実践を考察できる 3. 褥婦および新生児の特性を理解し、ウェルネスの視点をふまえた看護実践を理解できる 4. 地域で暮らす母子とその家族への支援活動の役割や方法を理解できる 5. 母性看護における対象の理解を通して自らの看護観を醸成できる
授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象の特徴を理解するとともに、マタニティサイクルにある対象者を受け持ち、必要なケアを看護過程を通して学ぶ 地域における母子支援活動の実践を学び、地域での母子や家族への支援の役割や方法を理解できるよう子どもセンターでの実習を設定した
授業計画	授業内容 授業形態 ：臨地実習 一部学内実習 学習課題 ：妊娠期・分娩期・産褥期（新生児を含む）をプロセスとして理解し、各期の対象の特性をふまえた看護が理解できる 学習内容 ： 産科外来 妊婦健康診査に来院した妊婦を受け持ち、情報収集・アセスメント・ケア実施または見学を行う 助産師外来や母乳外来の見学を通して、継続看護や個別性に応じた看護ケアについて 考察する 産科病棟 1組の母子を受け持ち、看護過程を展開する 分娩経過のアセスメント、産婦への安楽なケアの実施 胎児の健康状態のアセスメントを実施する 子育て施設 子どもセンターでの母子支援活動の見学を通して、地域の子育て支援の方法や母子とそれを取り巻く家族及び環境の実際を把握する 〈実習場所〉 新潟県立中央病院、JA新潟厚生連上越総合病院、オーレンプラザ子どもセンター、市民プラザ子どもセンター 備考：詳細は「母性看護学実習要項」を参照。
評価方法、評価基準	到達目標1の達成度は、実習記録、実習態度、知識の確認にて行う（15％）、 到達目標2の達成度は、看護実践、実習記録、事前課題、実習態度、知識の確認にて行う（10％） 到達目標3の達成度は、看護実践、実習記録、事前課題、ディスカッション時の発言を総合して行う（10％）

	到達目標4の達成度は、看護過程の展開の実習記録、看護実践、実習態度、ディスカッション時の発言を総合して行う (30%) 到達目標5の達成度は、課題の提出状況、倫理的行動、実習態度、カンファレンスにおける参加状況や討議内容などを総合して評価する (35%) 評価は母性看護学実習評価表に基づき評価する。
必携図書	森恵美他 (2025) : 母性看護学 [1] 母性看護学概論, 第14版, 医学書院. 森恵美他 (2025) : 母性看護学 [2] 母性看護学各論, 第14版, 医学書院.
参考図書・資料等	参考図書については随時紹介する
受講、課題、資料配布等のルール	実習初日にオリエンテーションを行う 各自、実習要項を熟読しておくこと 免疫力の低い新生児と接する実習であるため、体調管理には気を付けること 実習記録には個人情報が見え隠れしていることを認識し、個人情報の管理を徹底すること
教員からのメッセージ	新しい生命を育む看護を通して、生命の尊さ、家族の形成、母性看護上の倫理や「親になること」などディスカッションをしながら、学びましょう。
オフィスアワー	在室時は可能な限り対応します